

大項目	中項目	小項目	回答
1	基本機能	1 病院情報システム(HIS)・電子カルテと連携し、各種検査結果を患者単位で取得・管理・保存する機能を有すること	
1		2 診療科の種別に関わらず一般的なフォーマットの静止画、動画の出力を行う検査機器の結果を汎用画像として管理できること	
1		3 診療科独自の数値や画像などの検査結果を出力する機器（自科検査機器）の結果管理ができること	
1		4 検査者が判断するスコアの管理を簡単に入力し、時系列・グラフ化等をもって有効に管理する機能を有すること	
1		5 汎用画像に対して加筆修正が可能であること。またこの加筆修正の仕組みが患者に対してインフォームドコンセントに有効に利用できる仕組みとして実装されていること	
1		6 クライアント・サーバシステムで動作し、300台以上のクライアントでの運用が可能であること。また、サーバのDBアクセスは有効にトランザクション管理されていること	
1		7 6年間の運用で想定できる汎用画像データ量が蓄積された場合でも同時利用台数やネットワークの仕組みに変化がない場合は、システムの動作速度に大きな低下を起ささない仕組みを実装していること	
1		8 医師の加筆する部分については、当院の運用管理規程に基づき保存されたデータが改ざんされることなく保存当時と同様に読み出せること	
2	HIS、電子カルテ連携機能	1 電子カルテ本体部分であるオーダ機能、所見記載機能と独立して動作し、万一の本体の動作不良時においてもその影響を受けることなく各種検査結果の取り込みが行えること	
2		2 独立して動作しつつHISと患者属性連携し、新規患者の登録と既存患者の修正が行えること	
2		3 独立して動作しつつHISと職員情報連携し、新規職員の登録と既存職員の修正・削除が行えること	
2		4 電子カルテのクライアント機能と汎用画像管理システムのクライアント機能が同一のクライアントで利用でき、お互いに干渉することなく動作すること	
2		5 電子カルテ本体部分から引数付きで起動でき、電子カルテで診察中の患者の汎用画像群を表示させることができること	
2		6 汎用画像・汎用画像付加情報を当該患者の電子カルテに指定フォーマット・電文にて渡すことができること	
2		7 電子カルテに対して汎用画像付加情報として以下の項目を渡すことができること	
2		8 ・登録日時	
2		9 ・登録職員情報（職員ID）	
2		10 ・登録科（部署）	
2		11 ・文書種別（画像種別）	
2		12 ・画像日付（登録日を既定値とする）	
2		13 ・検索用キーワード	
2		14 ・患者情報（患者ID、氏名、性別、生年月日）	
2		15 電子カルテに登録した汎用画像が、汎用画像管理システム上で簡単に識別できる機能を有すること	
2		16 電子カルテに登録済みの汎用画像を汎用画像管理システム上で加筆修正・削除した場合、電子カルテシステムに対して変更情報が連動して送られること	
3	インターフェイス及びクライアント機能	1 サムネイル表示・サムネイルリストから、汎用画像の検索が可能であること	
3		2 サムネイル上に検査日・加筆状態・画像属性の情報を表示できること	
3		3 撮影日・画像種別・診療科・各フラグ情報等でサムネイルを絞り込んで表示する機能を有すること	
3		4 汎用画像を表示するエリアは、全画面表示・2分割表示・4分割表示可能で、表示する汎用画像をサムネイルから指定できること	
3		5 選択した複数の汎用画像をマトリックス状に配置して表示することができること	
3		6 マトリックス状に配置した複数の汎用画像を合成画像として新たに登録することができること	
3		7 選択した複数の汎用画像をスライド表示することができること	
3		8 汎用画像に対して、画像に紐づいている診療科とは別の診療科から参照できないように設定できること	
3		9 患者説明時に説明内容を判り易くするために、汎用画像に対して加筆修正が可能なこと	
3		10 加筆修正時に、キーボード・マウスの他にペンタブレットデバイスからの入力を有効に利用可能な仕組みを持つこと（筆圧感知・スムーズなペンの軌跡を再現できること。）	
3		11 加筆修正時に、患者説明に使う文言が文字テンプレートとして登録でき、簡単な操作でその文言を利用できること	
3		12 加筆修正時に、矩形・円の描画、自由線・直線の描画、テキスト入力ができること	
3		13 加筆修正した内容は、オリジナルの汎用画像とは別に管理し、オリジナルと加筆修正後の汎用画像が切り替え表示できること	
3		14 加筆修正の履歴が、全て更新履歴として保存されていること	

大項目	中項目	小項目	回答
3		15 シェーマを登録でき、登録されたシェーマを呼び出し加筆した結果を汎用画像として登録できること	
3		16 汎用画像として取り込まれた動画の再生機能を有すること。再生機能は、停止・再生・繰り返し再生の指定が可能であること	
3		17 動画の再生は、分割表示モードで複数の動画を同時に再生する機能を有すること。また、複数動画の再生モードは同期、非同期を選択できること	
3		18 再生中の動画から任意のフレームを静止画の汎用画像として新たに登録できること。また、動画に加筆されていた場合、新たに登録される汎用画像に加筆内容が反映されていること	
3		19 再生中の動画から任意の開始位置・終了位置の範囲のフレームを動画として新たに登録できること	
3		20 現在表示している汎用画像をクライアントに接続されたプリンタにプリントアウトできること	
3		21 汎用画像をプリントアウトする際に、一時的に画像の明るさ・コントラストを調整して出力することができること	
3		22 登録済みの汎用画像を指定のフォルダに画像ファイルとしてエクスポートできること	
4	基本的検査画像取り込み機能	1 以下に挙げる一般的な外部インタフェースを有する検査機器と接続・連携して検査画像を取得し、取り込み端末の画面上で実際の映像を確認しながら、静止画・動画を汎用画像として登録する機能を有すること	
4		2 S-VIDEO信号もしくはコンポジット信号で信号出力する検査機器から静止画・動画が取り込めること	
4		3 USB経由でデータ連携するデジタルカメラ接続機器から、静止画が取り込めること	
4		4 静止画・動画の取り込みが、キーボード・マウス・フットスイッチ・手元スイッチ等で行えること	
4		5 動画の取り込み時間を指定できる録画タイマー機能を有し、指定時間経過後、録画が自動的に停止すること	
4		6 録画タイマーは、通常使用する指定時間を解除して一時的に任意の時間を指定できること	
4		7 取り込んだ静止画・動画に関連付けて、画像種別・取り込み実施者・日時等の汎用画像付加情報を自動的に付与する機能を有すること	
4		8 イメージスキャナから汎用画像の取り込みが可能で、取り込んだ汎用画像に種別フラグを設定できる機能を有すること	
4		9 BMP・JPEG・PNG・PDFの画像を、ドラッグ・アンド・ドロップで汎用画像として登録できること	
4		10 Word、Excelのファイルをドラッグ・アンド・ドロップで患者データとして登録できること。また、登録されたWord、Excelファイルから直接、Word、Excelが起動できること	
4		11 検査機器が患者ID入力デバイスを持ち、検査画像に対してその情報を付与して連携可能な場合は、自動的に検査実施患者の検査画像を汎用画像として取り込む事ができること	
4		12 汎用画像管理システム・サーバと接続されていない状態（オフライン）でも、検査画像の取り込みが可能なこと	
4		13 オフライン時に取り込んだ汎用画像を、オンライン状態になったときに指定の患者データとして汎用画像管理システム・サーバに登録する機能を有すること	
5	眼科検査管理機能	1 「4. 基本的検査画像取り込み機能」に加えて以下の眼科専用の機能を有すること	
5		2 画像検査機器についてそれぞれ専用の連携プログラムにより自動的に画像や左右眼の情報を取り込みできること	
5		3 数値を出力する検査機器と直接連携して数値検査データを取得できること	
5		4 ノンコン・レフクラ・レンズメータ・視野計等のシリアルポート経由・ファイル共有の数値検査結果を各機器・メカ毎に解析し、有効に取り込みが行えること	
5		5 スペキュラー解析結果の画像管理が行えること	
5		6 OCT解析結果の画像管理が行えること	
5		7 下記の検査入力テンプレートが全て利用できること	
5		8 自覚視力の専用テンプレートがあり、自覚視力のテンプレートには、複数の自覚視力が出るテンプレートや、手術用の自覚視力テンプレートが利用できること	
5		9 コンタクト入力の専用テンプレートを有していること	
5		10 コンタクト入力の専用テンプレートでは、コンタクト処方箋を出力できること。また、角膜距離から度数の補正機能を有していること	
5		11 眼圧は、機器から直接データとして取り込むことが出来、また、専用テンプレートを用い手入力できること	
5		12 AC/A比の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		13 CFFの専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		14 ステレオテストの専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること (専用テンプレート：TNO・Titums・Lang・ニューステレオ・Frisby・Butterfly・Randot・Randomdot)	
5		15 Maddox正切尺の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること。検査距離なども自由に設定できること	
5		16 眼球突出度の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること。左右の入力だけでなく、Orbita緑間の入力もできること	
5		17 眼軸長の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	

大項目	中項目	小項目	回答
5		18 検影法の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		19 残像検査の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		20 涙液検査の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		21 プリズム遮閉・プリズムアダプテーション検査の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		22 B E Tの専用テンプレートを有し、眼位、同時視、融像、立体視などの入力を行うことができること	
5		23 色覚検査の専用テンプレートを各種有し、簡単に入力を行うことができること。 (石原式38・総合・12、石原式Ⅱ 38・24・14、東京医大表、SPP1・2、パネルD15、15Hue、アノマロスコープ、100Hue、ランタンテスト、大熊式、カラービジョンテスト、幼児色覚)	
5		24 角膜情報を入力するための専用テンプレートがあり、オーブスキャン、パキメータなどの測定機器を指定して入力を行うことができること	
5		25 瞳孔径の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること。暗視、明視の切り替えでの入力を行うことができること	
5		26 スペキュラーの専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること。解析結果の画像や測定値を管理することができること	
5		27 斜視の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること。C U T, A P C T, S y n o p t o p h o r e, T S T, C o n v e r g e n c e / e y e m o v e m e n tの専用入力テンプレートでの入力を行うことができること	
5		28 眼位の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること (Krimsky・Hirschberg・9方向眼位・4方向眼位)	
5		29 眼球突出度、拳筋機能、シルマー、涙洗、鼻内視鏡などの専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		30 中心窩網膜厚の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		31 ETDRSの専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		32 眼球運動の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		33 眼振の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		34 Aniseikoniaの専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		35 回旋偏位の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		36 瞼裂幅の専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		37 その他固視、バゴリーニ、Worth4灯法、深視力、近点計、Mチャート、4baseoutなどの専用テンプレートを有し、簡単に入力を行うことができること	
5		38 眼鏡処方箋・コンタクトレンズ処方箋などの書類発行機能を有すること	
5		39 各種検査結果は検査日・検査者の別を持って検査サマリー画面で管理可能なこと	
5		40 検査サマリー画面から当該の検査をクリックで当該の画像や数値が表示されること	
5		41 数値検査結果は端末毎に指定する項目順に表示が可能なこと	
5		42 視力と眼圧の検査をグラフ表示可能なこと	
5		43 画像検査・数値検査を含めて、当日の全ての検査結果を日別検査一覧として表示管理する機能を有すること	
5		44 日別検査一覧から任意の検査をクリックする事で、当該検査データが表示されること	
5		45 眼科経過記録を既存の紙カルテのフォーマットで記載するカルテ入力支援機能を有すること	
5		46 経過記録上に眼科検査管理機能から任意に選択した検査データを貼り付ける機能を有すること	
5		47 経過記録の任意の位置に検査画像をドラッグ&ドロップ操作にて貼り付ける機能を有すること。また、貼り付けた後も任意の大きさに拡大・縮小可能なこと	
5		48 貼り付けられた検査画像において、動画の場合はダブルクリックにより関連付いた動画が再生されること	
5		49 経過記録のフォーマット、シェーマ、テキストテンプレートの作成登録機能、所見テキストDo機能等の入力補助機能を有し、記載を簡易かつ高速に行えること	
5		50 記載済みのシェーマからのDo機能を有し、当日分として編集・登録が行えること。また、シェーマ記載においてはペンタブレット等の使用を考慮し、筆圧感知機能・消しゴム機能を有すること	
5		51 作成中の経過記録の記述順や配置を自由に調整できること	
5		52 経過記録の登録と共に、記載内容を電子カルテに画像として送信し、登録できること	
5		53 手術の履歴管理機能を有すること。また手術履歴管理機能から、術式、執刀医、手術からの経過日数を経過記録に記事として入力できる機能を有すること	
5		54 記載した経過記録を、任意に呼び出しが出来るよう登録する機能を有すること。また、登録された経過記録は、アカウント毎、診療科共通の区別で登録できること	

大項目	中項目	小項目	回答
5		55 記載した経過記録から文字の全文検索が行えること。また、所定のオブジェクトを事前に設定する事で、オブジェクトに対する条件検索が行えること	
5		56 静的自動視野解析装置の解析ソフトと専用ビューアソフトを有すること	
5		57 静的自動視野解析装置を両眼、左右で分析表示できる機能を有すること	
5		58 静的自動視野解析装置へ、OCT、眼底カメラの画像等を取り込む機能を有し、多角的解析ができること	
5		59 静的自動視野解析装置へIOL、ノンコン等の検査データを自動取り込みする機能を有し、多角的解析ができること	
5		60 静的自動視野解析装置の解析ビューアでは、日別の個別表示、一覧表示、マップ表示、比較表示、チャート表示、イメージ表示、AGIS表示、CLGTS表示など、眼科専門の表示で表現できること	
5		61 静的自動視野解析装置のグラフ表示は、手術や投薬などのイベントを表示させ、患者の状態変化を表すことができること。MD、PSD、IOP、ノンコン等の比較表示を行うことができること	
5		62 静的自動視野解析装置の解析データへ手書きでの書き込みを行うことができ、画像サマリやファイリングで保管記録できること	
5		63 静的自動視野解析装置での正確な数値を計測させるために、ゲイズの表示を標準機能として備えていること	
6	診療科別の機能と各種データ管理	1 診療科毎に管理者権限ユーザを登録できること	
6		2 以下の情報について管理者権限ユーザが診療科別にメンテナンスできること	
6		3 ・画像種別	
6		4 ・画像に持たせる任意のフラグ情報	
6		5 ・画像に持たせるコメント(病名等)	
6		6 ・文字テンプレート	
6		7 ・インターフェイス及びクライアント機能(3-16)の汎用画像をエクスポートできる利用者権限ユーザ	
6		8 ・シエマの下地画像	
6		9 ・参照画像	
6		10 登録済みの汎用画像に対して削除ができること	
6		11 削除された汎用画像の復元ができること	
6		12 汎用画像削除時、汎用画像および汎用画像付加情報は物理的に削除されず論理削除を行うのみとし、必要に応じて内容を参照できること	
6		13 クライアントに対して自動的にバージョンアップを行える「自動配信機能」、もしくは「自動アップデート用のサーバ機能」を有すること	
6		14 汎用画像を機器から取り込んだユーザを特定できる機能を有すること	
6		15 汎用画像の修正を行ったユーザを特定できる機能を有すること	
6		16 汎用画像付加情報に対して条件検索ができること。また、追加テキスト情報に対して全文検索を行う事ができること	
7	汎用レポートシステム	1 汎用画像管理システムに登録されている汎用画像を利用して、汎用レポートを作成する機能を有すること	
7		2 汎用レポートは、診療画像・シエマおよび画像所見等のコメントから構成されること	
7		3 画像所見のコメントの入力は、テンプレート入力とフリー入力の併用が可能なこと	
7		4 汎用レポートの文章テンプレートは、診療科単位でメンテナンスが可能なこと	
7		5 シエマ及び参照画像は事前に登録されているものから使用する事ができること	
7		6 作成中の汎用レポート上に、別レイヤーとしての加筆修正ができること	
7		7 加筆修正時に、矩形・円の描画、自由線・直線の描画、テキスト入力ができること	
7		8 汎用レポートは、データベースに登録されると同時に、印刷イメージが汎用画像として登録されること	
7		9 登録済みのレポートに対して、編集・加筆が可能であり、修正履歴の参照が行えること	
8	カルテ記事記載システム	1 眼科の特殊性を理解したうえで、HISと連携したカルテ入力支援機能を有すること	
8		2 カルテ入力機能は見開き型の画面インターフェイスが可能なこと	
8		3 記載事項の改ざんを防止する機能を有すること	
8		4 修正した場合には版数管理が可能なこと	
8		5 登録された記載事項が削除された場合でも、簡易な作業によって当該記事を参照可能にする仕組みを有すること	

大項目	中項目	小項目	回答
8		6 記載された経過記録は1 記載、1 カルテとし、必要に応じてタグを付ける機能を有すること	
8		7 任意につけられたタグは、簡易な操作で一目で確認できること	
8		8 記載された経過記録のソート・検索・絞り込みが可能なこと	
8		9 外来・入院フラグを自動的に切り替える仕組みを有すること	
8		10 初診時カルテや専門外来カルテを、既存の紙フォーマットイメージでセット登録する事が可能なこと	
8		11 セットとして様々なパターンの診療録を登録し、いつでも簡易な操作によって使用する事が可能なこと	
8		12 セットの登録は容易であり、ユーザー側で登録変更が可能なこと	
8		13 セットは診療科共通で使用できること。また、医師によって手を加えた場合には、医師の個別セットとして登録が可能なこと	
8		14 頻用するセットのショートカットを最大 2 セットまでアイコンとして設定可能なこと	
8		15 記載中の経過記録の記述順や配置を自由に調整できること	
8		16 記載中も過去の経過記録が参照可能なこと	
8		17 記載エリアに、矩形・円の描画、自由線・直線の描画、テキスト入力ができること	
8		18 テキストの入力は、テンプレート入力とフリー入力の併用が可能なこと	
8		19 テキストテンプレートは医師毎に管理可能なこと	
8		20 テキストそれぞれに属性を持たせる事ができ、HISのSOAP欄に各データが連携可能な仕組みを有すること	
8		21 矩形・円・自由線・直線を記載する際の色を1 0 色まで設定が可能なこと	
8		22 色の設定は医師毎に設定可能なこと	
8		23 テキストエリアとは別に、スタンプ機能を有すること。また、スタンプを貼り付ける際は簡易な操作で貼り付け可能なこと	
8		24 スタンプは400種類以上登録が可能なこと	
8		25 スタンプは診療科共通とし、グループ分け等の機能を有すること。また、スタンプはユーザーにて登録・修正する事ができること	
8		26 画像ファイリングシステムや自科検査専用システムとシームレスな連携が可能な仕組みを有すること	
8		27 画像ファイリングシステムに登録された画像を、画面を切り替える事なく参照可能なこと	
8		28 シェーマ作成時に、キーボード・マウスの他にペンタブレットデバイスからの入力を有効に利用可能な仕組みを持つこと（筆圧感知・スムーズなペンの軌跡を再現できること。）	
8		29 過去のカルテで作成されたシェーマをDoする事ができること	
8		30 シェーマDoされた画像およびシェーマ上のテキストに対しても、編集が可能なこと	
8		31 経過記録の指定の位置に検査画像を自動的に貼り付ける機能を有すること。また手動で貼り付ける際は極めて簡易な操作で貼り付けが可能なこと	
8		32 貼り付けられた画像は、自由な大きさに変更可能なこと	
8		33 作成中の経過記録の記述順や配置を自由に調整できること	
8		34 自科検査専用システムに登録された検査値を、画面を切り替える事なく参照可能なこと	
8		35 過去の記載事項から、簡易な操作でテキストのコピーを行えること（カルテDoの機能を有すること）	
8		36 作成した経過記録を自動的に基幹電子カルテ上へ登録が行われること	
8		37 経過記録を修正した場合も、自動的に基幹電子カルテ上へ修正登録が行われること	
9	データ移行	1 既存の眼科システムのデータを、新システムに移行できること	